

イベントのお知らせ

2月5日(木)

入
場
無
料

会場：上越教育大学 人文棟204

13:00~
14:30

第1部 特別講演(オンラインで上映) 「妊娠中絶の主体はどこにあるのか —キリスト教・社会・女性—」

「キリスト教保守派の信仰に基づく」。米国などでの人工妊娠中絶の禁止をめぐるっては、こうした語られ方がしてきました。実際のところ、この「キリスト教の信仰」とはどのような根拠によるものなのでしょう。一方、人工妊娠中絶に賛成する論理とはどのようなもののでしょうか。そして、信仰と人工妊娠中絶の間で揺れる信徒には、いったいどのような葛藤があるのでしょうか。立教大学などで「キリスト教と社会」についての授業を長年つづけてこられた先生にうかがいます。



【講師紹介】

古澤有峰(ふるさわ ゆみ)
・東京大学地震研究所地震発生予測研究センター(地震火山史料連携研究機構)研究員
・大学院人文社会系研究科附属死生学・応用倫理センター 研究員など

15:30~
17:00

第2部 ワークショップ

針と糸を使って、ミモザのフェルト刺繍を行う予定です。手を動かしながら、普段の家事の悩みなどを気軽にお話ししましょう。手ぶらでご参加いただけます。

※内容は状況により変更となる場合があります。



お問い合わせ

山下寛久(j20235304p@myjuen.jp)
石川美月(j20235753p@myjuen.jp)
森山あゆみ(j20245757c@myjuen.jp)
常田美織(j20255055p@myjuen.jp)
松井友香(j20222129b@myjuen.jp)

※上越教育大学公募型地域貢献事業「男女共同参画社会の構築に向けた教育課題・地域課題の探究」の一環として行います。

代表：心理臨床領域 宮下友恵(miyasita@juen.ac.jp)
学校経営・学校心理領域 堀健志
生活・健康領域 佐藤ゆかり

